

特定非営利活動法人トムトム

平成31年度

事業報告(案)



# 法人全体

## 1、基本理念

ハンディのある方とそご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

## 2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実を目指す。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
- (4) 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の整備を目指す。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備を図る。
- (6) 適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

## 3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
  - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成の実施
  - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 安定した運営の実現
  - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
  - ② 新人事制度導入に伴うキャリアアップ制度の運用
  - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (3) 事業展開と今後の見通し
  - ① 就労支援事業の新規作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
  - ② 成人向けの事業の検討
  - ③ 指定共同生活援助に関する事業の検討

4、会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和1年5月22日	平成30年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和1年5月27日	①平成30年度事業報告(案) ②平成30年度決算報告(案)及び監事監査報告
総会	定時	令和1年6月8日	①平成30年度事業報告(案) ②平成30年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③役員選任 ④平成31年度事業計画(案) ⑤平成31年度予算(案)
理事会	第2回	令和1年11月18日	①平成31年度上半期事業報告(案) ②平成31年度上半期決算報告(案)
理事会	第3回	令和2年2月19日	個人情報保護法に基づき審議事項は非公開

5、会員

正会員38名、賛助会員29件

6、事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域
本部		西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)	
トムトム相談室		南原		計画相談支援,障害児相談支援	茅ヶ崎市 平塚市
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園	障害福祉サービス	多機能型 放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町
	からんころん			生活介護	
	ゴロゴロクラブ	赤羽根		茅ヶ崎市日中一時支援	
	とむ郎	香川		共同生活援助	
	モンキーポッド	萩園		茅ヶ崎市日中一時支援	
平塚支部	えぽっくハウス	南原	自由契約	多機能型 生活介護	平塚市
	黄色の家	中原			
	アンヌ	城所		多機能型 就労移行支援	
	キャロット工房	寒川			
	青果ことぶき	西真土		就労継続支援B型	
	グリーン工房1階			平塚市日中一時支援	
	えぽハウ	御殿		放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ			居宅介護,重度訪問介護,移動支援	
ぶんぶん	南原	個別支援(パーソナル)			



## 7、施設管理業務

## (1) 建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マイズビル1階	206.25 m <sup>2</sup>	ぶんぶん, えぼっくハウス・トムトム相談室
2	平塚市南原2-4-5 マイズビル403号室	41.25 m <sup>2</sup>	
3	茅ヶ崎市赤羽根2165-2	120.89 m <sup>2</sup>	ゴロゴロクラブ
4	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m <sup>2</sup>	とむ郎
5	平塚市中原2-6-63	101.84 m <sup>2</sup>	黄色の家
6	平塚市西真土1-7-62	126.37 m <sup>2</sup>	キャロット工房
7	平塚市西真土1-7-56	130.00 m <sup>2</sup>	グリーン工房
8	平塚市城所1382	162.47 m <sup>2</sup>	アンヌ
9	高座郡寒川町一之宮1-9-15	49.50 m <sup>2</sup>	いずみビル201号室
10	平塚市御殿1-7-6	118.38 m <sup>2</sup>	ゆうゆうクラブ
11	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.78 m <sup>2</sup>	あいあいクラブ, からんころん
12	平塚市御殿1-33-21	59.52 m <sup>2</sup>	えぼハウ
13	茅ヶ崎市萩園1602	53.60 m <sup>2</sup>	モンキーポッド
14	高座郡寒川町一之宮1-9-15	128.00 m <sup>2</sup>	青果ことぶき

## (2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園2336-2	14 台	11	平塚市南原2-8-14	5 台
2	茅ヶ崎市松林3-821	3 台	12	平塚市南原2-2-13	3 台
3	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	13	平塚市南原2-4-7	5 台
4	平塚市御殿1-7-6	4 台	14	平塚市南原2-4-9	4 台
5	平塚市御殿1-23-3	2 台	15	平塚市西真土1-1512-1	5 台
6	平塚市御殿1-1111-4	2 台	16	平塚市西真土1-1521-1	4 台
7	平塚市御殿1-112-3	8 台	17	平塚市西真土1-1528-1	1 台
8	平塚市南原2-187-1	1 台			
9	高座郡寒川町一之宮1-9-15	1 台			
10	平塚市南原2-3-10	1 台			
合計					66 台

## (3) 法人所有車両

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	キャロット工房	4 台
あいあいクラブ	3 台	ゆうゆうクラブ	3 台
ゴロゴロクラブ	3 台	からんころん	3 台
とむ郎	1 台	トムトム相談室	1 台
えぼっくハウス	9 台		
合計			28 台

## (4) 什器備品・リース

No	什器備品	数量
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1

No	リース	数量
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話	14
4	複合機	6
5	プリンター	1
6	ことぶきレジスター	2
7	サーバー	2
8	パソコン	24
9	給与・人事奉行(ソフトウェア)	1
10	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
11	正木設計(ソフトウェア)	1
12	ヴォクシー(車両)	1

## (5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OBC 給与奉行 給与ソフト
2	会計	TKC 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者自立支援法対応 介護派遣コーディネートシステム
4	介護請求	障害者自立支援法請求システム
5	介護請求	マウントシステム
6	グループウェア(*)	サイボウズ
7	人事	OBC 人事奉行 人事管理ソフト

\*組織内の情報共有のためのシステムソフト

## 8、職員体制

令和2年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	5	2	4	18		31
嘱託				(-1) 1	5		6
非常勤					(+4) 70	3	73
アルバイト					(+1) 2		2
合計	2	5	2	5	95	3	112

※組織図別紙1参照

## 9、職員研修

研修名	開催日	出席者	内容
常勤職員研修	5月15日	常勤・嘱託職員 33名	ケースカンファレンスのグループワーク
法人全体研修	6月8日	常勤・嘱託・非 常勤職員74名	「東日本大震災で被災した障がい者とそ こに関わる人々の体験」 講師：自立生活センター 自立の魂(じり たま) 小野 知佳氏
常勤職員研修	7月10日	常勤・嘱託職員 35名	「紙粘土で自分を表現するオブジェを制 作り、展示・発表する交流」 講師：トムトム理事 松永 徹氏((福)翔の会)
常勤職員研修	10月16日	常勤・嘱託職員 33名	「紙粘土で自分を表現するオブジェを制 作り、展示・発表する交流」2回目 講師：トムトム理事 松永 徹氏((福)翔の会)
常勤職員研修	11月20日	常勤・嘱託職員 32名	「企業ドライバーとしての責任と自覚」講 師：三共自動車学校 中川 智由起氏
常勤職員研修	12月11日	常勤・嘱託職員 31名	「紙粘土で自分を表現するオブジェを制 作り、展示・発表する交流」3回目 講師：トムトム理事 松永 徹氏((福)翔の会)

## 10、内部会議の開催

会議名	主催	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幹部会議	理事長	1	3	3	0	0	0	0	2	2	1	1	2	15
常勤全体会議	理事長	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	9
会計会議	理事長	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	11
労務会議	理事長	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	14
Logical会議	理事長	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	5
IT委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8
安全委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8
衛生委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8
広報委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8
研修・人権擁護委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8

## 11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と一部の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月に実施済み

## 12、役員数

理事6名、監事2名

## 13、苦情処理

なし

## 14、総括

### (1) 安心できるより良いサービス提供の実現

- ・各事業所で毎月会議を開き、事故報告、ひやり・はっとの共有化を図り、支援事故防止に努めた
- ・定期的に支援計画を作り、目標設定とその実現に向けて取り組んだ

### (2) 安定した運営の実現

- ・健全な経営を行うため下記の点に重点を置き取り組んだ
- ・会計事務所との連携による確実な財務管理の執行
- ・部長・課長・主任参加による月次決算報告会を毎月実施
- ・部長・課長・主任合同会議を毎月実施し、情報の共有化・連携を図った

### (3) 事業展開と今後の見通し

- ・就労支援B型の新規事業(PC解体作業)に関して、他法人との連携と体制づくりを行った。

### (4) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う法人の対応について

2月以降、新型コロナウイルスの感染が世界中に広まり、日本国内においても、外出自粛要請・休業要請が出され、小学校・特別支援学校・公共施設など多くの法人が臨時休業を余儀なくされた。しかしながら社会福祉施設については、利用者やその家族の生活を継続するうえで欠かせないものであるため、適切な感染防止対策を講じた上で事業を継続するようにと、神奈川県から再三にわたって要請があり、法人は事業運営を継続して行った。

学校の臨時休業を受けて、児童部門の事業所は平日は午前中から開所して利用者を受け入れ、利用者とそのご家族の安定的な生活維持のため支援を継続したが、一方で職員の労働環境や長時間勤務の状況にも配慮が必要と判断し、全事業所で帰りの送迎開始時間を早めたり、一部の児童部門で土曜日を閉所したりするなどの対策を行った。

## IT委員会

### 1、目的

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの構築を目指す。

ITシステムを上手に活用したアプリの構築、法定保存文書の保管・管理のペーパーレス化、セキュリティ強化等、業務効率化を目指す。

### 2、重点課題

- ① 2020年のWindows7以前のOSサポート終了に合わせ、2019年度中にすべての法人パソコンをWindows10へ入れ替え、業務に支障がでないよう体制を整える。
- ② kintoneを活用し、月報や事故報告書、ひやりはっと等の法人内文書のデータ作成、管理、集計を効率的に行えるよう改善する。
- ③ 情報共有や業務効率化に向けて、現在使用しているサイボウズやドキュワークストレイなどのツールをより多くの職員が活用出来るような運用方法、周知方法を検討する。

### 3、総括

パソコン、NASの入れ替え、メールサーバーの変更などが全体として取り組んだ活動であった。時間が想定以上にかかったり、不具合が出たりした点はあったが最終的には予定していた変更等はすべて完了させることが出来た。年度後半に予定していたパソコンの環境調査はコロナウイルスの影響等により実施が出来なかった。

---

## 安全委員会

### 1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

### 2、重点課題

- ① 火災・地震を想定した避難訓練は毎年実施しているので、それ以外の災害に対してどのように備えるか検討する。
- ② ひやりはっと、事故報告書の記載例、記入マニュアル作成の検討を行う。

### 3、総括

- ① 災害・天災等の緊急時に備え、緊急メールシステムをより使い易いタイプへバージョンアップすることで登録者数を増やし、緊急時連絡手段の充実を図った。
- ② 火災及び地震訓練を各事業所ごとに計画・実施し、いざという時スムーズに行動できるように訓練を行った。
- ③ 茅ヶ崎と平塚それぞれ各1箇所にAEDを設置したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、普通救命講習(AED講習)の日程が立てられなかったため、是非今年度の早い時期に実施したい。

## 安全委員会(車両)

### 1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

### 2、重点課題

- ① 車両点検簿を活用し、車両運行前の事前準備、点検を各事業所で実施する。
- ② 各月ごとに車両に関する事故やひやりはっとの分析を行い、事故防止につなげる。
- ③ ドライブレコーダーの有効な活用方法を検討する。
- ④ 年間を通してスローガンを掲げ、安全運転の意識向上を図る。

### 3、総括

- ① 各事業所の車両管理担当者が、点検簿を活用し車両の点検管理を実施した。繁忙期や、多数の送迎車を使用する事業所では、月間の報告が漏れてしまう事があり、フォローアップが不足していた。
- ② 車両に関しての事故、ひやりはっをピックアップし、重大な事故やひやりはっに関しては各事業所の所属長に委員会での検討内容や課題を伝えた。
- ③ ドライブレコーダーの導入により、車両の運転が可視化され、安全運転の意識が高まった。今後必要に応じて送迎車全台への導入も視野に入れていく。
- ④ 3か月毎に各事業所へスローガンポスターの配布を行った。交通安全についての意識を高めるきっかけになった。
- ⑤ 委員会の主催で研修を実施した。今後も安全運転についての知識を深められるよう、継続していきたい。

---

## 衛生委員会

### 1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

### 2、重点課題

- ① 定期健診を通し、個々の健康について各関係機関と連携をし、心身ともに健康で、元気に働ける環境を整える。
- ② 年間を通じて衛生管理に関する研修・講習会などに積極的に参加し、得た情報を職員会議・啓発活動などで周知していく。

### 3、総括

- ① 定期健診後の個別面談を実施し、健保協会と連携しながら健康管理を促した。
- ② インフルエンザの予防接種を成人事業の利用者と職員を対象に、限定だが実施するようになり、感染防止の意識が強化されてきた。
- ③ 昨年度から外部の感染予防研修に参加するようになり、委員自らが知識を習得する機会が増えた。
- ④ 2月より新型コロナウイルスの感染が拡大したことを受けて、情報収集や広報・伝達を行い感染予防の啓発を随時行った。衛生用品類が不足しがちだったが本部との連携を密にしながら調達に努めた。

## 広報委員会

### 1、目的

広報誌・WEBサイト等を活用し、法人のPR効果の向上を最大限に行う。また、利用者及び人財確保に貢献し、賛助会員の拡大を目指す。

### 2、重点課題

- ① 広報誌の誌面作りについては、毎年委員会のメンバーが入れ替わってもスムーズに編集が出来るような引き継ぎ方法の検討と作業時間の確保ができるよう工夫する。
- ② 広報誌の記事について、現行のままで良いのかを検討する。外部の読者(ご家族等)が広報誌にどんなことを掲載して欲しいのか、アンケート等を試みて意見を収集する。

### 3、総括

- ① 編集に慣れているメンバーとそうでないメンバーで担当ページ作成に費やす時間の差があり、限られた事務の時間の中で、締め切り期日までに構成するのは大変であった。また、現場が動いている時間と事務の時間がメンバー同士でも異なる為、情報共有がうまく出来ず構成作業が遅れてしまうこともあった。
- ② 内容についてのアンケートを試みたが返答が少なく期待したような結果は得られなかった。今後も、新しい内容も考えながら、引き続き法人の取り組みや事業所の活動の様子を掲載していく。

## 研修・人権擁護委員会

### 1、目的

#### (1) 研修

法人内外の研修を通じて職員を育成し、仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。

#### (2) 人権擁護

障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

### 2、重点課題

- ① 研修会への参加人数が年々減少しているため、より職員が参加したくなるような研修内容を検討する。
- ② 福祉職としての専門知識を習得して支援力を高めていけるよう、基礎的な研修を繰り返し行なう。

### 3、総括

6月の法人全体研修では、東日本大震災における障がい者当事者が何を考え行動していたかを、実際に体験された講師を招聘して話を伺った。大地震対応に関する基礎的な心構えはもちろんのこと、当事者の心理を汲み取ることの大切さを学び、人権擁護の観点からも、日々私たちが行っている支援のベース作りができた。また、常勤全体会議の中では、職員一人ひとりが、日々の生活の中で何を根底に生きているのか等を、紙粘土造形物を製作し、職員みんなの前で想いを発表する研修をシリーズで行った。職員同士のコミュニケーションを図る場面として重要な機会となったことは、今後の法人内多岐にわたる事業を進めるうえで、貴重な時間となった。

## 本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

### 1、目的

法人全体の運営業務が円滑に進むように環境整備する。

### 2、業務内容

労務業務 人事、給与他

管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他

庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他

経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他

管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他

請求業務 未収金請求、障害福祉関係の請求他

本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

### 3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

嘱託職員1名

非常勤職員2名

### 4、会議・研修

#### (1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	毎月1回	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

#### (2)外部研修・説明会

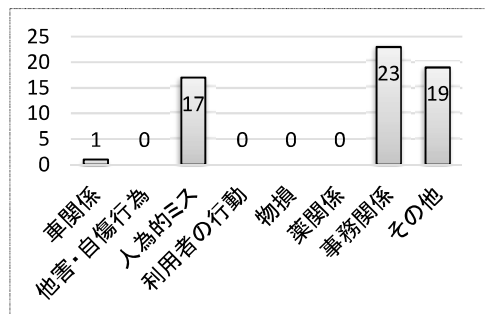
研修名	開催日	内容
説明会	6月13日	算定基礎届事務説明会
研修	6月20日	kintoneについて
研修	7月19日	働き方改革実践セミナー 人事・総務ができる労務リスクマネジメント手法
説明会	8月5日	特定処遇改善加算について
研修	9月12日	これで安心！中小企業でもできる同一労働同一賃金対応 ～改正法の「実務的な勘どころ」を押さえた人事制度の作り方～
研修	9月26日	(1)高額療養費制度について (2)みんなで体を動かそう～職場でできる簡身体操～
研修	11月7日	(株)プライムコンサルタント創立20周年記念研修会
説明会	11月15日	年末調整について
研修	1月29日	働き方改革実践セミナー



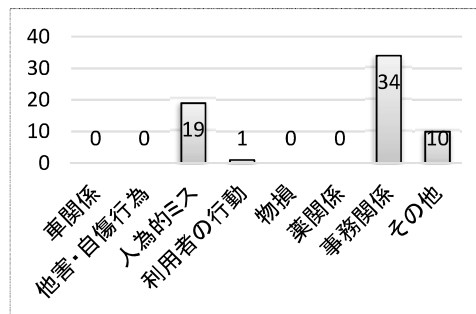
## 5、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはつと 60 件



(3) 事故報告 64 件



## 6、重点課題と目標

### (1) 事故報告とひやりはつと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはつと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

### (2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトの導入により、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

### (3) 安定した運営の実現

- ① 顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。
- ② 専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、昨年度改定した新しい賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。
- ③ 顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。
- ④ 事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。
- ⑤ 給与ソフトとの連動が可能な就業管理ソフトを導入し、多様化している職員の勤務形態に対応できる労務管理体制づくりを目指す。
- ⑥ ホームページを最大限活用するために、新たに専門業者と契約し大幅な内容の見直しに着手している。今期、早めのリニューアルを行う。

### (4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

### (5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6)経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7)その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

## 7、総括

年度初めは経理担当が空席のままだったため、顧問会計事務所に一部の経理事務をアウトソーシングしたことで、使用する経理ソフトを今年度から変更したことが重なり、経理事務がスムーズに処理できるよう軌道に乗るまでに時間がかかった。また、年度末の予算組みでは、新しいソフトでは初めての作業で操作に慣れないことや新型コロナウイルス禍の影響による他業務の増加が重なり、年度末までに予算書を完成させられなかった。

職員全体の賃金制度を見直したことで、人材確保等支援助成金の受給が見込まれることになったため、顧問社会保険労務士とともに相当の時間を費やして膨大な提出資料、追加資料を整えて申請手続きを行った。その成果で、第1回目の助成金は制度を整備したことにより支給が決定したが、2回目の助成金については、この1年間の職員の離職率が目標ラインをクリア出来ず、受けられなかった。次年度は社会保険労務士と連携して助成金受給を目指したい。

## 茅ヶ崎支部

## 1、内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	月1回 (8月を除く,2月 3月は新型コロナ ウイルス感染 拡大防止のため 中止)	各事業所の報告及び課題検討

## 2、外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
全国放課後連理事会	4月21日	制度改正による厚労省への働きかけ等
放課後ネットかながわ事務局会議	年9回	研修企画、情報交換等
茅ヶ崎市障害者施設連合会	5月15日	総会、情報共有
全国放課後連総会、研修会	6月2日	総会、制度改正に向けての要望書検討 など
茅ヶ崎市障害者施設連合会	6月19日	情報共有
放課後ネットかながわ総会	6月23日	総会 制度改正に向けての要望書について
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	9月18日	情報共有
放課後ネットかながわ研修会	11月23日	研修「制度改正とその課題」
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	12月18日	研修企画、情報交換等

## 平塚支部

## 1、内部会議・研修

なし

## 2、外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
全国放課後連監査打合せ	5月18日	監査、国への働きかけ準備
湘南西地区施設長会	6月27日	子ども自立生活支援センター「きらり」見 学、情報交換等
湘南西地区施設長会	10月9日	施設見学、研修、情報交換等
湘南東西地区合同施設長会	11月15日	事業所紹介研修、情報交換等
首都圏基板ネットワーク会議	1月16日	今後の方向性等
湘南西地区施設長会	1月23日	役員選出、情報交換等
湘南西地区施設長会	3月18日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止

## ゴロゴロクラブ(茅ヶ崎市赤羽根2165-2)

### 1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

### 2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

### 3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日

(5)サービス提供時間…9:30～18:30

(6)定員…20名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	287
件数	2,483
障害福祉サービス収入(単位:千円)	20,788

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者34名(男性18名、女性16名)

(2)年齢構成

13～29歳、平均年齢22歳(男性21歳、女性22歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	15	12	2	1	30			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	5	2	1	0	0	1	9	

### 6、職員体制

嘱託職員1名

(管理者1名(他兼務))

嘱託職員1名

(児童発達支援管理責任者)

非常勤職員11名

(保育士2名、指導員7名、ドライバー2名)

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	月1回 (8月を除く,3月 は新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止)	日々の業務、利用者対応及び支援の情報共有と 検討など

### (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市・寒川町障害児者 通所事業所連絡会	年5回	情報共有、課題検討
担当者会議	7月19日	情報共有、利用日増加の検討

### (3) 研修

研修名	開催日	内容
安全運転講習	10月11日	適性検査、技能講習
茅ヶ崎市・寒川町事業所連 絡会公開講座	2月5日	講義「児童期から成人期に向けた支援のあり方」 グループワーク

### (4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	年19件	個別支援計画を基に支援の検討 家庭との情報共有

## 8、行事

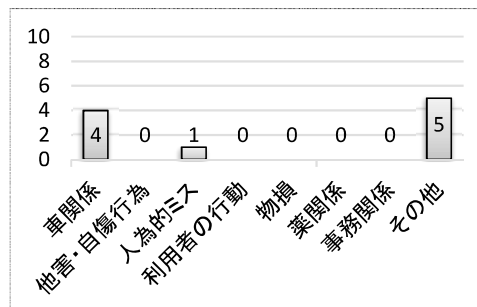
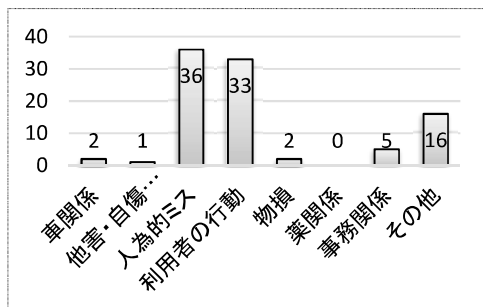
行事名	開催日	内容
夏祭り	7月20日	茅ヶ崎養護学校の夏祭り参加
スタンプラリー	8月17～31 日	手作りスタンプラリー (スタンプラリー作成、プログラム準備)
夏休み外出	8月1.6.16 20.23 26.27 28.29日	電車、昼食、おやつ外出 図書館、平塚市博物館、いすゞプラザ プレシア工場見学など
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	9月20日	活動報告 意見交換
キラキラちゃんふる音楽祭	10月19日	茅ヶ崎養護学校音楽祭の見学
火災通報避難訓練	10月21日	火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報)
クリスマス会	12月23日	手作りケーキの提供 クリスマスプレゼントの配布など
節分	2月3日	豆まき
避難訓練(地震)	2月5日	地震を想定した避難訓練
卒業生を送る会	3月30日	記念品の贈答等

## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 95 件

(3) 事故報告 10 件



## 10、重点課題

- ① 昨年度まで2つの事業を行ってきたが、今年度からは、放課後等デイサービス事業を廃止し、日中一時支援事業のみを継続して行う。これに伴い、今まで日中一時支援は成人のみを対象としてきたが、児童の受け入れも行っていく。支援の内容は、今までと変わらない質の良いサービスが提供できるよう職員同士の情報共有を密にする。
- ② 成人の利用希望が増加し、時間延長や送迎のニーズも多いので、事業の終業時間まで現場に入ることが出来る職員の確保。

## 11、目標

- ① 一日平均9件以上の利用受け入れを目指す。
- ② ご本人ご家族と共に、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
- ③ 市内の施設や事業所との連携を強化し、ご家族の負担にならないような利用料の上限額設定の仕組みを構築してもらうこと、また、事業所としては重度の方が利用した時に付く加算が撤廃されないよう行政に働きかけていく。
- ④ 利用者のご家族のニーズに対応していくために、職員の支援力の向上と安定した職員配置を目指す。

## 12、総括

放課後等デイサービス事業を廃止して茅ヶ崎市日中一時支援事業一本になり、児童は対象者全員が利用継続となるも利用実績は減少し、制度の利用者負担金増加の影響があった。一方で、成人は加算率は高いものの年度途中で利用を終了した利用者がいて全体としては一日平均9件を下回った。半年間、常勤職員の療養休職が続いたため、非常勤職員の勤務体制にもばらつきが生じ、安定した配置の確保は困難であった。職員の配置が難しい以上、安定した支援を提供できる限度を見極めながらの運営となった。ご本人、ご家族のニーズには可能な範囲で応えた面もあったが全体の支援力の向上には注力できなかった。事業所連絡会を通して事業処遇の改善を継続して協議したが、成果としては上がっていない。

## あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園2336-2)

### 1、実施事業

放課後等デイサービス

### 2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう必要な支援を行う。

### 3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に小学生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…(日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	287
件数	2,818
障害福祉サービス収入(単位:千円)	29,804

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者27名(男性17名、女性10名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	1	2	2	4	3	12
女性	1	0	0	0	1	0	2
計	1	1	2	2	5	3	14

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	1	0	2	0	1	1	5
女性	1	3	0	2	1	1	8
計	2	3	2	2	2	2	13

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	13	12	1	0	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	2	2	0	1	2	1	8

## 6、職員体制

常勤職員3名  
 (管理者1名(他兼務)、児童指導員2名)  
 嘱託職員1名  
 (児童発達支援管理責任者(他兼務))  
 非常勤職員7名  
 (保育士1名、児童指導員4名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務))

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	月1回 (8月を除く、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	業務連絡 情報共有 業務内容の確認
個別支援検討会議	月4日から 10日程度 (8月、1月、3月を除く)	利用者の情報共有 個別支援計画 支援内容の検討

### (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	4月26日	相談事業所、学校、放課後事業所、移動支援事業所における情報の共有
茅ヶ崎市・寒川町障がい児者通所事業所連絡会	年4回 (3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	情報共有、グループワーク等
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	年2回	部会ごとの報告 情報交換、課題共有
茅ヶ崎市・寒川町障がい児者通所事業所連絡会運営会議	年4回	グループワークや研修について
ユースボランティア茅ヶ崎2019	年3回	学生ボランティア受入れについて 意見交換、説明会、反省会等
茅ヶ崎養護学校A部門支援事業所連絡会	7月11日	送迎方法、引継ぎ方法等の情報確認と共有
自立支援協議会・つながり支援部会	7月31日	教育と福祉の連携について フェイスシート「そだちのいっぽ」の周知活動について
地域生活支援拠点整備連絡会	9月4日	利用者情報の共有に向けた書式についての意見交換
茅ヶ崎市差別解消支援地域協議会	10月10日	東洋英和女学院大学教授 石渡和実氏による差別解消法講座
茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会打合せ	年3回	説明会や研修について
茅ヶ崎市自立支援協議会つながり支援部会勉強会	12月3日	茅ヶ崎市の特別支援教育に関する場所、人、仕組みの説明と質疑応答
茅ヶ崎市・寒川町 障害児者通所事業所連絡会説明会	12月10日	放課後の福祉サービスについて概要説明



会議名	開催日	内容
地域生活支援拠点整備連絡会	2月27日	意見交換
茅ヶ崎養護支援事業所連絡会	3月4日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

## (3) 研修

研修名	開催日	内容
発達障がい基礎講座(田口教育研究所)	5月12日	第二の「愛着対象者」として ～大切な《母と子》の視点から～
行動援護従業者研修	6月20.27日	行動援護従業者の養成
行動援護従業者研修	7月11.18日	行動援護従業者の養成
神奈川県サービス管理責任者等研修 基礎研修	9月17日	「サービス提供プロセスの管理」に関する演習
安全運転講習	10月9日	適性検査、技能講習
神奈川県サービス管理責任者等研修 基礎研修	10月22日	「サービス管理責任者の基本姿勢とサービス提供講義のプロセス」に関する講義
神奈川県サービス管理責任者等更新研修	11月25日	保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術の習得
茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会	11月27日	茅ヶ崎市障害福祉課主催勉強会(権利擁護、虐待防止のグループワーク) 連絡会の課題
茅ヶ崎市・寒川町事業所連絡会公開講座	2月5日	講義「児童期から成人期に向けた支援のあり方」 グループワーク
福祉教育・障がい理解促進部部研修会	2月20日	講演「事例も交えてヒントを学ぶ 誰もなかまはずれにならない、みんなの学校～子どもの多様性は可能性～」

## (4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	年50件	家庭、学校、放課後における利用者の様子について

## 8、行事

行事名	開催日	内容
春のバーベキュー体験	4月3日	茅ヶ崎里山公園(里山バーベキュー場)にてバーベキュー
夏祭り	7月20日	茅ヶ崎養護学校の夏祭りに参加
プール	8月1～31日	茅ヶ崎市屋内温水プール(菘園)にてプール活動
新規利用希望者見学	8月19日	施設内見学
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	9月20日	活動報告 意見交換
施設見学	10月3日	湘南国際アフタースクール(放課後等デイサービス)より施設見学に来訪
利用希望者施設見学	10月18日	つみき(児童発達支援、放課後等デイサービス)より新規利用希望者の施設見学
火災通報避難訓練	10月23日	火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報)

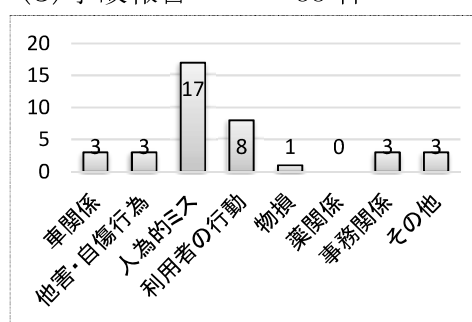
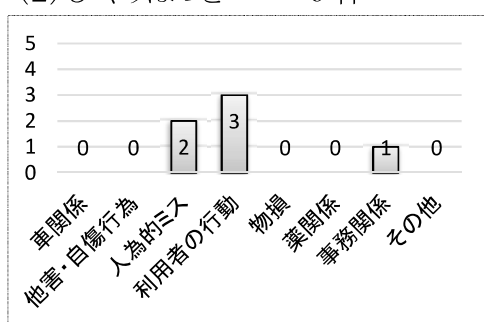
行事名	開催日	内容
利用希望者活動見学	10月24日	タンブー(放課後等デイサービス)より新規利用希望者の活動参加の様子見学
ハロウィン	10月30.31日	仮装してハロウィンを楽しむ
インフルエンザ予防接種	11月15日	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック
クリスマス会	12月24.25日	クリスマス会の開催

## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 6 件

(3) 事故報告 38 件



## 10、重点課題

- ① 利用者のご家族の意向を踏まえた個別支援計画を基に、職員皆でそれを共有し支援に反映させていくこと。
- ② 利用者の課題解決に向けて、関係機関との情報共有の機会を多くもつこと。
- ③ 職員の支援力向上と人員の配置を工夫する。

## 11、目標

- ① 職員のスキルアップ・連携強化、ならびに支援環境の更なる改善を進めることで、新規利用者の受け入れ増に繋げていく。
- ② 前年度から行ってきた季節活動をさらに充実した内容にするために、準備の段階から利用者が楽しんで参加できる行事を多く盛り込んでいく。
- ③ 非常勤職員にも現場支援以外の事務作業など新しい業務へチャレンジしてもらい、各々のキャリアアップへ繋げていく。

## 12、総括

安定した運営の基盤として、新規利用者の獲得と利用の定着はスムーズに進めることができた。その反面、支援度の高い既存利用者支援への取り組みは課題となった。

当事業所では、受け入れ学年幅が広く、利用者の発達や年齢ごとに異なる成長時期の難しさを抱えてはいるが、笑顔と笑い声が絶えない支援環境を維持することが出来た一年だった。また、このような恵まれた職場環境が基盤となり、事務などを中心とした業務分散・協力体制は日を増すごとに安定した形で定着した。

今年度は、職員個々の課題や生活面の変化が多く見られた状況であったが、常勤職員を中心としたスムーズな連携に加え、業務バランスが整ってきた印象を強く感じた。

## とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

## 1、実施事業

共同生活援助

## 2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

## 3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1) サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2) 対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3) 定員…6名

## 4、事業収入

※家賃補助は含まない

	年間
開所日数	366
件数	1,753
障害福祉サービス収入(単位:千円)	23,087

## 5、利用者構成

(1) 利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2) 年齢構成

24歳～44歳、平均年齢31歳(男性31歳、女性-歳)

(3) 手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	4	2	0	0	6		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	1	4	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	1	4	6

## 6、職員体制

常勤職員2名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名(他兼務))

非常勤職員15名

(生活支援員8名(他兼務含)、世話人7名(他兼務含))

## 7、会議・研修

## (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	支援内容の確認、情報共有など

## (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎寒川グループホーム連絡会	年2回	行政からのお知らせ 近況報告、情報交換など
サービス担当者会議	年2回	入居者の相談モニタリングに関する近況報告、情報提供
ケース会議	年2回	利用者の近況について情報共有

## (3) 研修

研修名	開催日	内容
障がい者グループホーム職員研修 「事例から学ぼう～心構えは想定内～」	8月6日	「生活の中での課題」「通所先との連携」の事例を元に検討会
障がい者グループホーム職員研修	9月19日	「自閉症、発達障がいの理解～グループホームでの支援のポイント」
神奈川県強度行動障害支援者養成研修 実践研修	9月19日	講義「行動障害のある人の暮らしを支えるために」 演習「適切な支援を組み立てる」
	9月20日	講義「行動障害のある人の生活と支援」他 演習「行動上の課題に対応する」「危機対応と虐待防止」
安全運転講習	10月8日	適性検査、技能講習
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	2月26.27日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

## (4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	年8件	個別支援計画について
後見人面談	1件	近況報告
成年後見人面談および利用者モニタリング	1件	相談業務のモニタリング
成年後見人面談および利用者面談	年2件	成年後見人の来訪にあわせた個人面談
認定調査	1件	認定調査のための情報提供
モニタリング	年2件	相談員のモニタリングに同席

## 8、行事

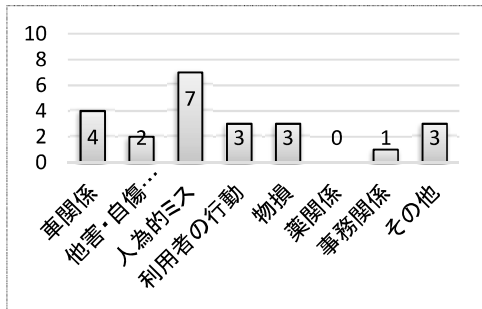
行事名	開催日	内容
利用者健康診断	4月10日	倉田会メディカルサポートクリニックにて利用者の健康診断
誕生日会	5月9日	利用者の誕生日を祝う(食事会)

行事名	開催日	内容
施設見学	8月7日	ケアハウスあつとホーム来訪、施設見学
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	9月20日	実費負担報告、近況報告など
誕生日会	10月16日	利用者の誕生日を祝う(食事会)
火災避難訓練	10月30日	火災を想定した通報避難訓練(消防署への通報)
インフルエンザ予防接種	11月15日	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック
施設見学	12月4日	やまびこの会(グループホーム)より施設見学(利用希望者)来訪
大掃除	12月7日	事業所内の年末大掃除
避難訓練(地震)	1月30日	地震を想定した避難訓練

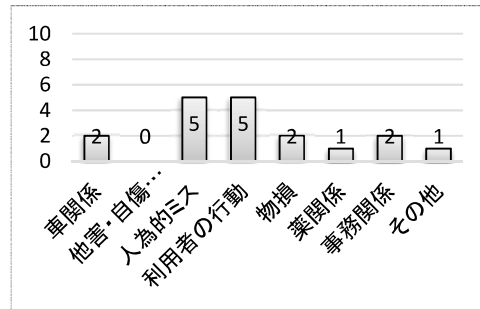
### 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 23 件



(3) 事故報告 18 件



### 10、重点課題

- ① 職員の高齢化の対応を含めた支援体制の確保に努める。
- ② 支援職員の障がい特性への理解をすすめて、利用者それぞれの特徴に配慮した関わりを実践できるような支援力の習得。

### 11、目標

- ① 入居者ひとりひとりの特性や思い、希望に応じた個別的な支援を心がけ、利用者の安全や安心が守られる生活の提供。
- ② 利用者が地域社会の中で近隣との良好な関係を保ちながら生活していけるように努める。

### 12、総括

利用者の健康面については大きく崩れることはなかったが、行動面では不安定になってしまふ方もいたので、その都度家族や関係機関とも連携しながら対応した。時折不安定になる利用者が見られるが、全般的には落ち着いて過ごしてもらえている。

支援体制に関しては2月に常勤職員が急遽退職することになったため、体制を整えるために他の職員が業務を調整したり、他部署からの異動やもともと勤務していた職員の勤務を増やすなどで対応した。引き継ぎ等が十分にできなかった面もあるが全般的には事業を継続して行う事はできた。

新型コロナウイルスの影響としては直接グループホームの支援に支障は出ていないが、ヘルパーを利用しての外出などが制限をうけているので利用者の過ごし方に多少なりとも影響が出た状態で年度末を迎えることになった。

## からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

### 1、実施事業

生活介護

### 2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

### 3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…10名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	254
件数	2,542
障害福祉サービス収入(単位:千円)	38,086
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	2,402
就労支援事業収入(単位:千円)	30

### 5、利用者構成

#### (1)利用者数

定員10名、契約者14名(男性10名、女性4名)

#### (2)年齢構成

18歳～45歳、平均年齢24歳(男性25歳、女性22歳)

#### (3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	12	1	0	0	13			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	1	2	1	0	1	1	6	

#### (4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	3	4	3	10
女性	0	0	0	0	2	2	4
計	0	0	0	3	6	5	14

## 6、職員体制

常勤職員4名  
 (管理者1名、生活支援員3名)  
 嘱託職員1名  
 (サービス管理責任者(他兼務))  
 非常勤職員12名  
 (看護師1名、生活支援員8名(他兼務含)、ドライバー3名(他兼務含))

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回 (3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	支援内容及び連絡事項などの情報共有 ひやりはっと、事故報告の振り返り

### (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	7月19日	他事業所との情報共有
茅ヶ崎市社会福祉協議会 障害者週間街頭キャンペーン 打ち合せ	11月26日	障害者週間の街頭キャンペーン(12/3)で開催するワークショップについての打ち合せ

### (3) 研修

研修名	開催日	内容
リハビリテーション研修	6月18日	地域リハビリテーション支援センター 「知的障害の方の身体機能低下への対応」
自閉症支援実践講座	6月30日	障害特性からはじめる支援～フレームワークの活用～
安全運転講習	10月7.11日	適性検査、技能講習
茅ヶ崎市障害者施設連絡会 研修会	2月2日	講演会「本人中心支援」 鶴見大学短期大学部 河合高鋭氏、事業所紹介、職員交流(意見交換等)

### (4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	10件	個別支援計画について
認定調査	1件	認定調査のための聞き取り
新規利用者面談	1件	新規契約時面談

## 8、行事

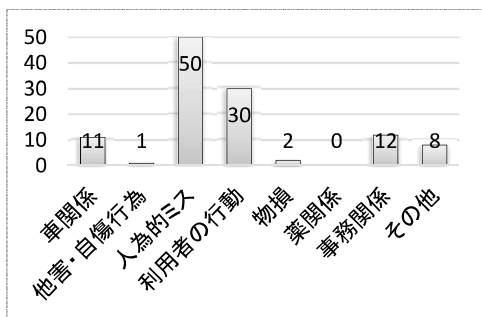
行事名	開催日	内容
利用者健康診断	4月10日	倉田会メディカルサポートクリニックにて利用者の健康診断
お楽しみ昼食	年11回	昼食作り、弁当購入、弁当持参等、食べることを楽しむ
ローズフェスティバル	5月16日	花菜ガーデンにて花と緑にふれあう
現場見学	5月17日	茅ヶ崎養護学校進路担当者の現場見学

行事名	開催日	内容
体を動かそう	年2回	茅ヶ崎市総合体育館にて運動
バーベキュー体験	6月7日	茅ヶ崎里山公園(里山バーベキュー場)にてバーベキュー
茅ヶ崎養護学校現場実習	6月10～13日	現場実習
七夕祭り	7月5日	平塚市七夕祭りを観賞
施設見学	8月1日	茅ヶ崎養護学校より事業所見学
実地指導	9月4日	神奈川県障害福祉課による実地指導
10月慰労外出下見	9月14日	10/9外出予定先(神奈川県立生命の星・地球博物館ほか)の下見
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	9月20日	活動報告 意見交換
慰労外出	10月9日	神奈川県立生命の星・地球博物館にて展示等の観覧、鈴鹿かまぼこの里での買い物
火災通報避難訓練	10月23日	火災を想定した通報避難訓練(消防署への通報)
おやつ外出	年10回	外出先でおやつを楽しむ
インフルエンザ予防接種	11月15日	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック
茅ヶ崎養護学校きらめき祭	11月23日	自主製品販売、きらめき祭見学
茅ヶ崎市社会福祉協議会 障害者週間街頭キャンペーン(ワークショップ)	12月3日	障害者週間(12/3～9)にあわせた街頭キャンペーンにてワークショップを開催
クリスマス会	12月4日	手話パフォーマー北村仁氏(UDE JAPAN代表)による手話を取り入れたダンス鑑賞
成人を祝う会	1月13日	成人を迎える利用者を祝う
避難訓練(地震)	1月22日	地震を想定した避難訓練
	1月29日	
節分	2月11日	恵方巻作り

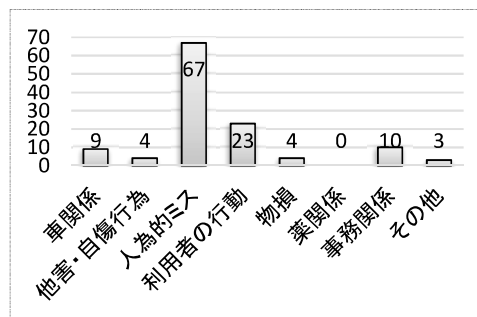
## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 114 件



(3) 事故報告 120 件





## 10、重点課題

- ① 現場の人手が足りず、支援力スキルアップを目指す為ための研修等へ積極的に参加できていない現状がある。
- ② 職員1人1人が意識して情報共有を図る必要がある。
- ③ 利用者の方々の障がい特性に配慮し、充実した作業内容を考案する必要がある。

## 11、目標

- ① 利用者が楽しく落ち着いて過ごせる環境を考慮しながら、作業内容の充実を実践していく。
- ② 職員一人ひとりがスキルアップを目指し、個々からチームへとスムーズに連携できるよう、全体的に支援力を向上させる。
- ③ 事務の時間をうまく使い分け、内容を見直しながら事務の軽減、効率化を図る。

## 12、総括

- ① 定期的に短期入所を利用される方が増えたため減収になった。
- ② 職員一人一人が利用者の特性を理解できるよう個別支援検討会議の場や、現場での対応を随時記録や口頭で伝えながら情報共有をおこない、各関係機関やご家族等とも連携しながら支援を行った。
- ③ 作業内容も検討し、利用者に合わせた作業工程を模索し、少しずつ支援工程を見える化した。また、日々の利用者の状況をふまえて支援内容を臨機応変に変更するなど個々に応じた支援が出来た。
- ④ 運動不足解消のための散策等を多く取り入れる活動をした。
- ⑤ 常勤職員の長期勤務時間を軽減するため業務の振り分けをおこなったが、送迎・清掃などを行いながらの事務時間確保は難しく時間外申請が多くなってしまった。夕方の業務ができる職員確保が急務。

## モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602)

### 1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

### 2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

### 3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30 土曜日/9:30～16:30

(6)定員…12名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	153
件数	250
障害福祉サービス収入(単位:千円)	1,930

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員12名、契約者5名(男性3名、女性2名)

(2)年齢構成

20歳～23歳、平均年齢21歳(男性20歳、女性22歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	4	1	0	0	5			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2	

### 6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、指導員1名(他兼務))

## 7、会議・研修

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

なし

(3) 研修

なし

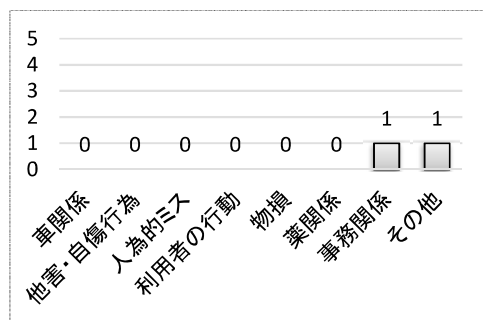
(4) 面談

なし

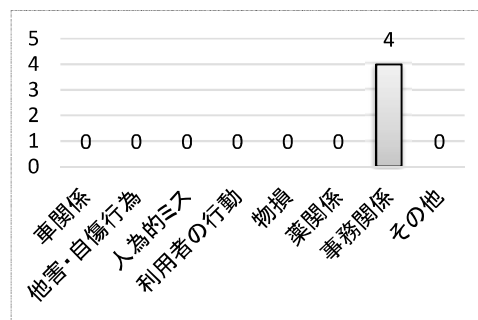
## 8、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 2 件



(3) 事故報告 4 件



## 9、重点課題

- ① 利用者、家族の意向に沿う支援内容の検討。
- ② 事業の終業時間まで現場に入ることが出来る職員の確保。

## 10、目標

- ① 利用者が落ち着いてリラックスして過ごせるように環境を整える。

## 11、総括

- ① 昨年に引き続き、職員の雇用が難しく常勤職員が支援に入ることが多かった。今後も職員募集をしながら進めていきたい。
- ② 利用者の皆さんには、リラックスして過ごしていただくよう心掛けた。
- ③ 利用者が楽しめる教材として身近な送迎車の写真のパズルなどを注文し、支援に利用した。
- ④ コロナウィルスの影響で3月については、開所時間を短縮した。ご家族にはご協力をいただいた。

## ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

### 1、実施事業

居宅介護・重度訪問介護・平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

### 2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

### 3、事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

### 4、事業収入

#### (1)居宅介護

	年間
時間数	6
障害福祉サービス収入(単位:千円)	33

#### (2)重度訪問介護

	年間
時間数	59
障害福祉サービス収入(単位:千円)	214

#### (3)移動支援

	年間
時間数	1,810
障害福祉サービス収入(単位:千円)	4,285

#### (4)パーソナルサービス(自由契約)

	年間
時間数	0
障害福祉サービス収入(単位:千円)	0

### 5、利用者構成

定員:なし/登録者:61名(男性43名、女性18名)

### 6、職員体制

常勤職員1名  
(管理者・サービス提供責任者兼務)  
嘱託職員1名  
非常勤職員12名(他兼務含)

### 7、会議・研修

#### (1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回 (8月を除く)	連絡事項、情報共有、意見交換

(2) 外部会議

なし

(3) 研修

研修名	開催日	内容
医療看護研修会 第2回講演会	12月13日	「知的障害施設における感染症対策～2019年～」専門医師の講義、グループワーク
神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	1月29.30日	講義「強度行動障害の基本的理解」「強度行動障害に関する制度および支援技術の基本的な知識」 演習「基本的な情報収集と記録等の共有」「行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解」 「行動障害の背景にある特性の理解」
平塚市成年後見利用支援センター設置5周年記念講演	2月17日	「障害者権利条約と成年後見制度～資格制限見直しを通して今、私たちにできること～」

(4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	年6件	新規利用者面談、契約
入職者面談	1件	入職者面談
職員面談	年2件	勤務、支援内容について

8、行事

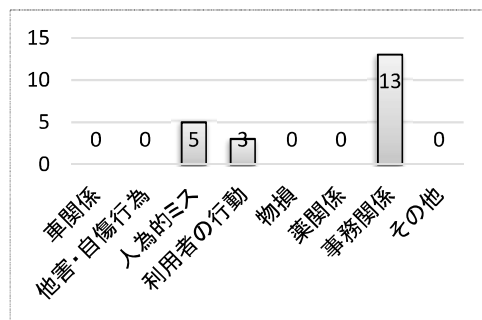
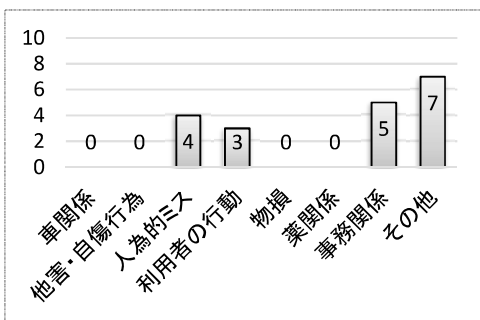
行事名	開催日	出席者	内容
インフルエンザ予防接種	11月15日	非常勤1名	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック

9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 19 件

(3) 事故報告 21 件



10、重点課題

- ① 支援検討会議の出席率を上げ、職員間の情報共有を強化していく。
- ② ひやりはつと報告書の提出を増やし、職員間の情報共有を強化していく。
- ③ マンツーマンの対応においては、個人情報の取扱いに注意する。

## 11、目標

- ① 一人の利用者に対して複数の職員が支援に入れるようにしていくことで、利用者やご家族の生活を継続的に支える。
- ② サービス提供責任者を中心とした支援体制を整え、ヘルパーが安心してサービス提供できる環境をつくる。
- ③ 支援検討会議や研修への参加、法人内の複数の事業所での異なるサービス提供支援業務の経験を通じて、職員のスキルアップに繋げる。

## 12、総括

他事業所の閉鎖に伴い、利用者と職員を引き受けた。利用者のご家族にとっては、切れ目の無い支援を提供することができた。利用とコーディネート、新規職員への対応が一気に増えたが、事業所としての成長にも繋がった。支援検討会議の出席者が増え、共有する情報やアイデアに幅が出た。嘱託職員が数回研修に参加したが、引き続き来年度も外部研修に参加し、事業の充実に繋げていく。

## ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

### 1、実施事業

放課後等デイサービス

### 2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう必要な支援を行う。

### 3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～17:30

(6)定員…10名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	287
件数	3,037
障害福祉サービス収入(単位:千円)	34,551
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	3,859

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者33名(男性21名、女性12名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	2	6	1	1	4	7	21
女性	2	1	0	2	4	3	12
計	4	7	1	3	8	10	33

(3) 手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	15	9	5	3	32			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	2	2	3	0	0	0	7	

6、職員体制

常勤職員4名  
 (サービス管理責任者1名、児童指導員2名、指導員1名)  
 嘱託職員1名  
 (児童指導員1名)  
 非常勤職員13名  
 (児童指導員5名(他兼務)、指導員6名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回 (8月を除く、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	ケース会議、連絡事項、情報共有

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
放課後連絡会議	年11回	総会、研修会、学習集会の打ち合わせ、グループワーク等
平塚養護学校放課後連絡会	6月4日	耐震工事、プール説明
湘南養護学校プール説明会	6月7日	プール利用方法の説明
障がい者自立支援協議会 こども部会学齢児分科会	6月27日	今年度役割分担、スケジュール確認、グループディスカッション
障がい者自立支援協議会 こども部会学齢児分科会	11月14日	情報交換会 「お迎え時の問題、要望、改善点について」
平塚養護学校 放課後支援関連事業所連絡会	1月30日	耐震工事等に伴う情報提供 今年度の教育活動状況 福祉事業所より連絡、情報交換

(3) 研修

研修名	開催日	内容
安全運転講習	10月11日	適性検査、技能講習

(4) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	年62件	個別支援計画について



## 8、行事

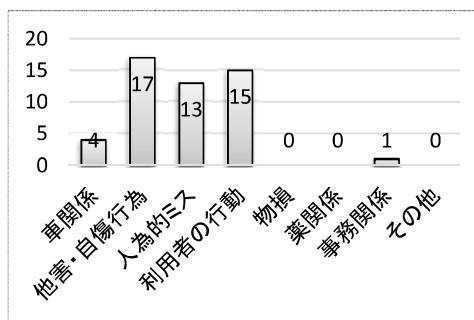
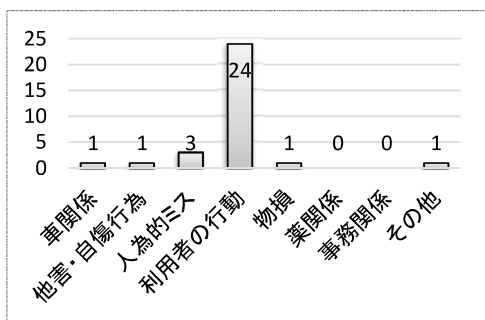
行事名	開催日	内容
誕生日会	年15回	利用者の誕生日を祝う
七夕	7月1～6日	七夕(短冊)飾り
プール	年9回	湘南養護学校にてプール活動
手話ダンス講座	年2回	手話ダンスパフォーマーによる手話を用いたダンス講座
火災通報避難訓練	10月23日	火災を想定した通報避難訓練(消防署への通報)
ハロウィンパーティー	10月30.31日	仮装、音楽、おやつ作り
	10月31日	
誕生日会 クリスマス会	12月24日	利用者の誕生日を祝う、クリスマスプレゼントの配布、ケーキ作り、音楽活動
初詣	1月7日	前鳥神社にて参拝
節分	2月3日	豆まき、恵方巻を食べる
避難訓練(地震)	2月5日	地震を想定した避難訓練
卒業生を送る会	3月28日	高等部卒業の利用者を祝う
	3月31日	

## 9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 2 件

(2) ひやりはつと 31 件

(3) 事故報告 50 件



## 10、重点課題

- ① 建物が老朽化しているため、室内の整理整頓を心がけ、常に清潔感のある居場所にする。
- ② 共有ノートの活用を充実させる。
- ③ 小学生対象の放課後系事業所及び市町村と途切れることのないよう連携する。
- ④ 個別支援計画の作成と面談を常勤職員全員で取り組み、情報共有の強化を図る。
- ⑤ 人材育成と人材確保。
- ⑥ 運転者と添乗者とが連携し、車両事故ゼロを目指す。
- ⑦ 法人内の他事業所と連携し、効率的な職員配置を行う。
- ⑧ 支援検討会議の内容の充実。

## 11、目標

- ① 1日あたり利用件数平均11人を目指す。
- ② 利用者にとって楽しみのある居場所としていくとともに、子どもたちの将来性を考えた支援を行う。(個別支援計画の活用)
- ③ 利用者1人1人の過ごし方に合った遊びやツールの提供。
- ④ 共有ノートを上手に活用し、利用者の優れているところの発見と共有を図り、持っている可能性を引き出していく。

## 12、総括

- ① 建物は老朽化しているが、常に室内の整理整頓を心掛け清潔に保つことができています。ロッカーや本棚など買い替えが必要なものは順次交換していく必要がある。
- ② 共有ノートを導入したが、記入漏れや確認不足があり、十分に活用はできなかった。
- ③ 他の放課後系の事業所や市町村との連携は不十分で、あまり新規利用者の獲得ができませんでした。
- ④ 個別支援計画の作成や面談は常勤職員全員で取り組み、情報を共有することができました。
- ⑤ 人材育成の面では、外部の研修への参加がほとんどなく、進めることができなかった。
- ⑥ 運転時には、運転者と添乗者が連携し、大きな事故を起こすことなく過ごすことができました。
- ⑦ 職員が不足している時には他の事業所の協力を仰ぎ、支援に支障がないよう職員を配置することができました。
- ⑧ 支援検討会議は参加できない非常勤職員も多く、開催時間の変更などを行う必要がある。内容は例年に沿ったものであったが、状況の変化に応じた新たな議題を模索していきたい。

## えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

### 1、実施事業

生活介護

- ・主たる事業所 平塚市南原2-4-5マイズビル1階
- ・従たる事業所 平塚市中原2-6-63  
平塚市城所1382

### 2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

### 3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…28名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	254
件数	6,100
障害福祉サービス収入(単位:千円)	87,861
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	10,291
就労支援事業収入(単位:千円)	473

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員28名、契約者37名(男性24名、女性13名)

(2)年齢構成

18歳～29歳、平均年齢20歳(男性20歳、女性24歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	27	10	0	0	37			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12	

## (4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	6	7	11	24
女性	0	0	0	4	5	4	13
計	0	0	0	10	12	15	37

## 6、職員体制

常勤職員9名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名(他兼務)、生活支援員7名(他兼務含))

非常勤職員20名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員15名(他兼務含)、ドライバー3名(他兼務含))

## 7、会議・研修

## (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	支援検討、支援計画作成、情報交換

## (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会	5月14日	福祉事業所合同説明会・見学会
車椅子修理内容打合せ	7月19日	車椅子の修理見積り
モニタリング	9月9日	相談員による事業所や家庭での様子の聞き取り
車椅子の修理打合せ	9月9日	利用者用車椅子の修理箇所確認と見積依頼
利用者ケース会議	年3件	利用者の事業所や家庭での様子報告、利用者の現状の様子や今後の対応、短期入所利用について

## (3) 研修

研修名	開催日	内容
神奈川県強度行動障害対策研修	7月18日	～利用者への不適切な対応を防ぐために～危機介入・セラピューティックホールドの研修
神奈川県サービス管理責任者補足研修	8月21.22日	講義「障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の概要並びに相談支援事業従事者の役割」「ケアマネジメントの手法」「地域支援」
安全運転講習	10月7日	適性検査、技能講習
神奈川県サービス管理責任者等更新研修	11月25日	保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術の習得
医療看護研修会 第2回講演会	12月13日	「知的障害施設における感染症対策～2019年～」専門医師の講義、グループワーク
強度行動障害対策事業現 任研修	2月19.20日	強度行動障害の支援に関する普及・啓発および人材育成を図る

## (4) 面談

面談名	件数	内容
実習打合せ	1件	実習日程、内容の打合せ
利用希望者見学	2件	えぼっくハウス概要説明、施設内見学
実習打合せ	1件	実習内容打合せ(情報確認、実習説明等)
利用者面談	42件	支援について、利用者家族との情報共有
実習打合せ	1件	利用希望者実習の内容説明
実習反省会	1件	利用希望者実習の反省
内田クリニック医療面談面談	1件	コロナウイルス対策・対応について

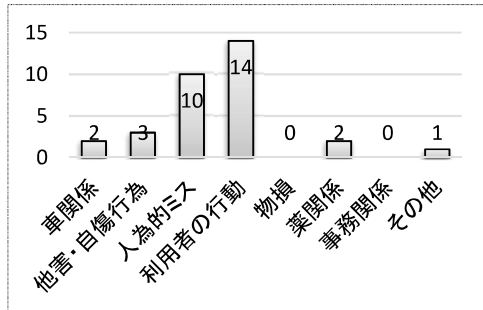
## 8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月8.9.10日	渋田川の桜見物
利用者健康診断	4月10日	倉田会メディカルサポートクリニックにて利用者の健康診断
バーベキュー大会	5月29日	茅ヶ崎里山公園(里山バーベキュー場)にてバーベキュー
七夕祭り	7月5日	平塚市七夕祭りを観賞 買い物体験
お楽しみ外出	8月15日	座間市ひまわり祭り見学
	8月16日	
施設見学	8月28日	小田原養護学校教員による施設見学 事業所の概要説明、利用案内
利用者実習	9月16～20日	活動の参加
秋のお楽しみ外出	10月25日	羽田空港国際ターミナル内の散策ほか (ともしび号(神奈川県福祉バス)利用)
インフルエンザ予防接種	11月15日	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック
クリスマス会	12月4日	手話パフォーマー北村仁氏(UDE JAPAN代表) による手話を取り入れたダンス鑑賞
初詣	1月14～17日	寒川神社、前鳥神社ほか参拝
節分	2月3日	豆まき
事業所訪問	2月3日	利用者の活動中の様子見学 (平塚市役所障がい福祉課ケースワーカー)
事業所訪問	2月7日	利用者の活動中の様子見学 (福)至泉会ソーレ平塚看護師)
避難訓練(地震)	2月10日	地震を想定した避難訓練
利用希望者施設見学	3月27日	施設見学

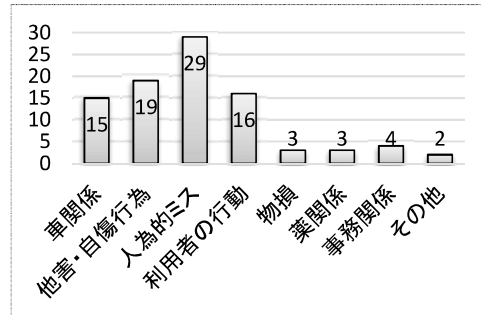
## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 32 件



(3) 事故報告 91 件



## 10、重点課題

- ① 1日利用件数の確保(他事業所との併用、短期入所利用により利用日数減が懸念される。)
- ② 職員のスキルアップ(研修への参加)
- ③ 活動内容の充実(作業・行事・余暇・リハビリ)

## 11、目標

- ① 平塚市福祉事業所合同説明会に参加して、利用者(新卒)の新規開拓をする。
- ② 外部研修へ積極的に参加していく。(常勤一人一研修への参加)
- ③ 新たな活動・行事・作業を取り入れる。

## 12、総括

- ① 新卒者の新規利用はなかったが、年度の途中から1名の新規利用があった。新卒者の新規利用については年代によって卒業生の人数差もあり、今後は実習を踏まえながら受け入れをしていきたい。
- ② 全員の研修参加は達成できなかったが、約半数の常勤職員が研修に参加できた。参加者は支援会議での研修報告をおこなっているが、今後は研修内容を見極めて参加していきたい。
- ③ 月1回理学療法士による機能訓練、生活動作訓練、椅子に座ってのチューブ体操を実施した。訓練は個別対応が基本になるが、チューブ体操は複数参加で理学療法士が不在でも取り入れていきたい。

## えぼっくハウス(平塚市西真土1-7-62)

## 1、実施事業

就労移行支援(多機能型)

- ・主たる事業所 平塚市西真土1-7-62
- ・従たる事業所 高座郡寒川町一之宮1-9-15

## 2、目的

障害者総合支援法に規定される就労移行支援事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

## 3、事業内容

生産活動、外出、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…12名

## 4、事業収入

	年間
開所日数	0
件数	0
障害福祉サービス収入(単位:千円)	0
就労支援事業収入(単位:千円)	38,576

## 5、利用者構成

(1)利用者数

定員12名、契約者0名(男性0名、女性0名)

(2)年齢構成

—

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	0	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0	

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

## 6、職員体制

常勤職員4名  
 (管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名(他兼務)、職業指導員1名、就労支援員1名)  
 非常勤職員1名  
 (生活支援員1名)

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	支援検討、支援計画作成、情報交換

### (2) 外部会議

なし

### (3) 研修

なし

### (4) 面談

なし

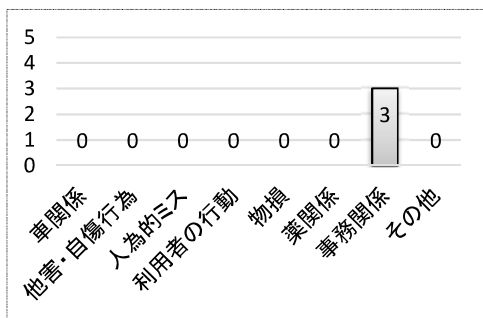
## 8、行事

なし

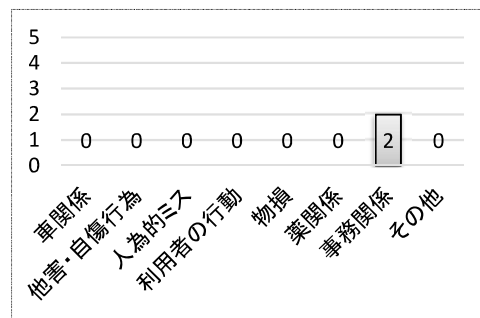
## 9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 3 件



(3) 事故報告 2 件



## 10、重点課題

- ① 職員の確保とスキルアップ
- ② 新規作業の確保、作業効率の向上、工賃の確保
- ③ 一般就労に向けて公共職業安定所、他事業者(障がい者就業・生活支援センター)との連携

## 11、目標

- ① 外部研修への参加。(常勤一人一研修への参加)。職員体制現状維持に対して新規利用者を増員する。
- ② 新規作業に取り組み工賃の向上につなげていく。
- ③ 施設外就労、体験実習へ参加する。



## 12、総括

- ① 新規事業としてパソコンの解体事業を導入し、地域や企業、他の事業所とのつながりも出てきた。「仕事」を通じて社会を感じていく機会を増やしていきたい。
- ② 作業環境や人との相性、職員のスキルアップなど課題もあるが毎日の作業の積み重ねから利用者の得意不得意、集中力などの発見もあり、実りのある一年でもあった。
- ③ ケース会議などを活用し、利用者の特長を生かしたアプローチをしていきたい。
- ④ ご家族と連携して、出勤できない利用者さんへのアプローチを続けいく。
- ⑤ 見えるくんやヒヤリハットを出していくことで事故を未然に防いでいく。

## キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

### 1、実施事業

就労継続支援B型

### 2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

### 3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

### 4、事業収入

	年間
開所日数	254
件数	4,799
障害福祉サービス収入(単位:千円)	32,881
就労支援事業収入(単位:千円)	4,188

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者24名(男性18名、女性4名)

(2)年齢構成

18歳～28歳、平均年齢22歳(男性23歳、女性20歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	4	9	3	1	17			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0	

(4)男女区分の内訳

区分	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	3	0	0	2	11	2	0	18
女性	0	0	1	2	3	0	0	6
計	3	0	1	4	14	2	0	24

## 6、職員体制

常勤職員6名  
 (管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員3名(他兼務含))  
 嘱託職員1名  
 (職業指導員1名)

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	支援検討、支援計画作成、情報交換

### (2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会	5月14日	福祉事業所合同説明会・見学会
関西基板ネットワーク懇談会	7月4日	基板ネットワーク関連事業所との懇談会
首都圏基板ネットワーク打ち合わせ	10月1～3日	市町村への挨拶および打ち合わせ
首都圏基板ネットワーク打ち合わせ	1月16日	今後の方向性について
新規利用者会議	2月13日	利用についての打ち合せ

### (3) 研修

研修名	開催日	内容
SBMマネジメントスクール	4月17日	課題解決力の強化
安全運転管理者法定講習	6月26日	公安委員会による法定講習
神奈川県強度行動障害対策研修	7月18日	～利用者への不適切な対応を防ぐために～危機介入・セラピューティックホールドの研修
神奈川県相談支援従事者現任研修(1/4回目)	11月11日	オリエンテーション 「福祉制度の動向」「地域を基盤としたソーシャルワーク」「スーパービジョン」
食品衛生管理者研修	11月20日	食品衛生について
基板ネットワーク全国大会	11月21日 11月22日	講演会、活動紹介
神奈川県サービス管理責任者等更新研修	11月26日	保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術の習得
神奈川県相談支援従事者現任研修(2/4回目)	12月13日	オリエンテーション 講義「チームアプローチ」 演習「事例検討(演習)(インターバル整理・セルフチェック)」
神奈川県相談支援従事者現任研修(3/4回目)	1月17日	オリエンテーション 講義「チームアプローチ」 演習「事例検討(演習)(インターバル整理・セルフチェック)」

研修名	開催日	内容
神奈川県相談支援従事者 現任研修(4/4回目)	2月14日	オリエンテーション 講義「個別の支援から地域支援の展開」「GSVの 目的と方法」 演習「地域づくりの必要性」「事例検討(支援のアイ デア)」「地域支援の展開」

(4) 面談

面談名	件数	内容
実習打合せ	1件	実習日程、内容の打合せ
利用者面談	年44件	活動報告
実習面談	2件	実習打合せ

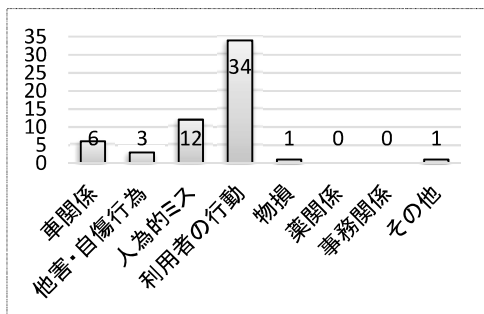
8、行事

行事名	開催日	内容
事業所見学	4月4.8日	活動内容、作業内容の説明
利用者健康診断	4月10日	倉田会メディカルサポートクリニックにて利用者の 健康診断
バーベキュー大会	5月29日	茅ヶ崎里山公園(里山バーベキュー場)にてバー ベキュー
実習	6月17～21 日	現場実習
実習	6月24～28 日	現場実習
お楽しみ外出	8月15日	座間市ひまわり祭り見学
職場体験	10月11日	支援活動の参加(おあしす湘南)
パソコン解体見学	10月21日	パソコン解体作業の見学((福)調布を耕す会)
利用者実習	10月23～ 29日	活動の参加(平塚養護学校)
パソコン解体体験会	10月25日	パソコン解体作業の体験 (横浜市健康福祉総合センター)
インフルエンザ予防接種	11月15日	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック
慰労外出	12月3日	お台場、フジテレビ見学ほか (ともしび号(神奈川県福祉バス)利用)
クリスマス会	12月4日	手話パフォーマー北村仁氏(UDE JAPAN代表) による手話を取り入れたダンス鑑賞
施設見学	12月25日	NPO法人えがおより作業内容の見学のため来訪
成人祝い	1月20日	成人を迎える利用者のお祝いとして、飲食店にて 食事会
PC解体業務について	1月14～24 日	NPO法人のんぴーり鈴木氏来訪 PC回収、営業活動のノウハウを教わる
利用希望者実習	1月27～31 日	新規利用希望者の活動体験
避難訓練(地震)	2月5日	地震を想定した避難訓練
節分	2月5日	豆まき
パソコン解体作業見学	3月19日	株式会社アンカーネットワークサービス来訪

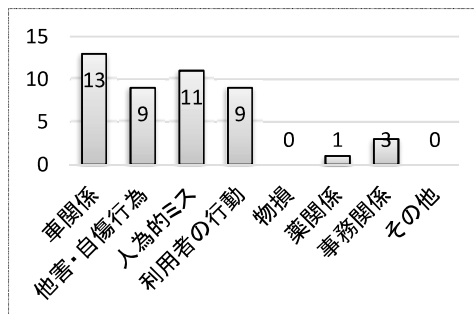
## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 57 件



(3) 事故報告 46 件



## 10、重点課題

- ① 職員のスキルアップ・体調管理
- ② 作業の確保
- ③ 工賃の確保・作業効率の向上

## 11、目標

- ① 外部研修への参加(常勤一人一研修への参加)。  
新規作業を確保し、工賃の向上につなげていく。
- ② 新規作業を取り入れる。
- ③ 作業時間、作業量を増加して、収益を増やし工賃に反映する。

## 12、総括

- ① 新規事業としてパソコンの解体事業を導入し、地域や企業、他の事業所とのつながりも出てきた。「仕事」を通じて社会を感じていく機会を増やしていきたい。
- ② 作業環境や人との相性、職員のスキルアップなど課題もあるが毎日の作業の積み重ねから利用者の得意不得意、集中力などの発見もあり、実りのある一年でもあった。
- ③ ケース会議などを活用し、利用者の特長を生かしたアプローチをしていきたい。
- ④ ご家族と連携して、出勤できない利用者さんへのアプローチを続けいく。
- ⑤ 見えるくんやヒヤリハットを出していくことで事故を未然に防いでいく。

## えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

### 1、実施事業

平塚市日中一時支援

### 2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

### 3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

### 4、事業収入

	年間
開所日数	254
件数	1,645
障害福祉サービス収入(単位:千円)	10,314

### 5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者24名(男性15名、女性8名)

(2)年齢構成

14歳～30歳、平均年齢23歳(男性23歳、女性25歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	12	10	0	1	23			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	1	3	2	1	1	0	8	

### 6、職員体制

常勤職員1名

(管理者1名(他兼務))

嘱託職員1名

(指導員1名(他兼務))

非常勤職員12名

(指導員12名(他兼務含))

## 7、会議・研修

### (1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回 (8月を除く)	連絡事項、情報共有、意見交換

### (2) 外部会議

なし

### (3) 研修

なし

### (4) 面談

なし

## 8、行事

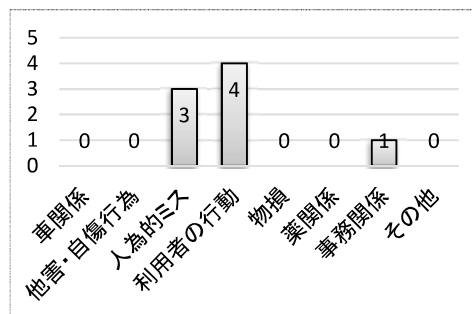
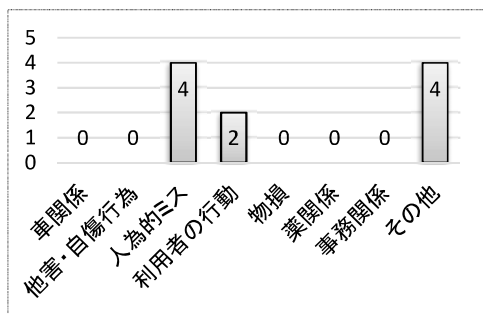
行事名	開催日	内容
火災避難訓練	10月30日	火災を想定した通報避難訓練(消防署への通報)
避難訓練(地震)	2月5日	地震を想定した避難訓練

## 9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 10 件

(3) 事故報告 8 件



## 10、重点課題

- ① 支援検討会議の出席率を上げ、職員間の情報共有を強化していく。
- ② ひやりはっと報告書の提出を増やし、職員間の情報共有を強化していく。
- ③ 日中活動事業所との情報共有を強化していく。

## 11、目標

- ① 利用者が充実した時間を過ごせるよう、その人に合った過ごし方を提供していく。
- ② 利用者に関する情報やご家族の思いを取り集めて、支援に関する疑問を解消することで、職員の働きやすさに繋げる。
- ③ 職員によって支援に大きな差が出ないように、支援検討会議や職員研修を通して各々のスキルアップに努める。

## 12、総括

支援検討会議の出席者が増え、共有する情報やアイデアに幅が出た。またその事により新たに始めた、日中一時開始時の毎日のブリーフィングが、職員の安心、利用者の安全、最新の情報共有の向上に貢献した。

ひやりはっとは、報告書としての提出は少ないままだが、上記のブリーフィングに加え「見えるくん」を復活させた事もあり、現場での情報共有は改善されつつある。

生活介護事業所との連携は引き続き課題だが、嘱託職員が生活介護連絡帳に目を通す事で、利用者の日々の状況がだいぶ把握できるようになった。



## トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

### 1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

### 2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用が行えるようにすることを目的とする。

### 3、事業内容

#### (1) 計画相談支援

##### ① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

##### ② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

#### (2) 障害児相談支援

##### ① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

##### ② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

### 4、事業収入

#### (1) 計画相談支援

	年間
サービス利用支援件数	57
サービス継続支援件数	209
障害福祉サービス収入(単位:千円)	3,884

#### (2) 障害児相談支援

	年間
サービス利用支援件数	34
サービス継続支援件数	110
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,314

### 5、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員2名(他兼務含))

### 6、会議・研修

#### (1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市・寒川町事業所連絡会	年3件	情報交換、研修、意見交換など
茅ヶ崎市自立支援協議会 相談支援部会	年4件	相談支援体制の在り方や計画相談に関する討議など
ケース会議	年6件	利用者の支援、対応について、情報交換など

(3) 研修

研修名	開催日	内容
行動援護従業者養成研修・講師	6月27日	グループホームでの支援の紹介など
行動援護従業者養成研修・講師	7月11.18日	行動援護従業者養成研修プログラムでの演習等のインストラクター
副安全運転管理者法定講習	7月3日	公安委員会による法定講習
発達障害のある子どもたちへのSST活用	9月27日	発達障害を知りSSTを学ぶ
神奈川県発達障害支援センター支援者向け研修	11月14日	困難事例にかかわる支援について
茅ヶ崎市自立支援協議会	12月3日	茅ヶ崎市内の障がい児教育の仕組みについて
平塚市自立支援協議会	12月18日	相談事業の経験を通しての計画相談以外の支援経験等についてグループワーク
事業所情報交換会	1月17日	事業所紹介、グループ討議

(5) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	256件	平塚利用者の面談
	155件	茅ヶ崎利用者の面談

7、行事

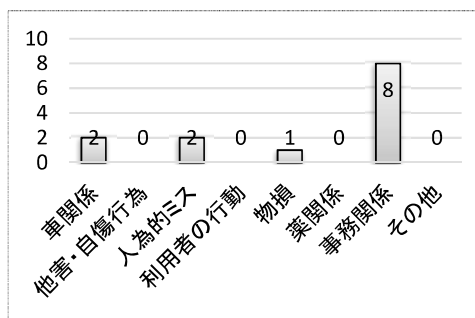
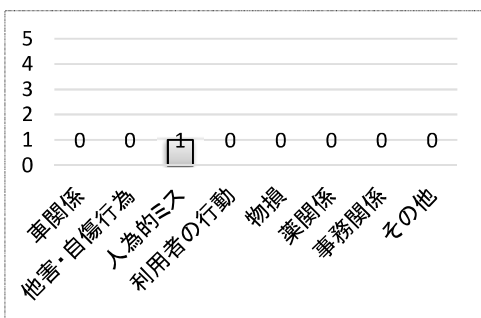
行事名	開催日	出席者	内容
インフルエンザ予防接種	11月15日	常勤1名	インフルエンザワクチンの接種 嘱託医:内田クリニック

8、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 1 件

(3) 事故報告 13 件



## 9、重点課題

### <茅ヶ崎支部>

- ① 茅ヶ崎支部の事業所を利用している利用者の中にセルフプランの方がいる。市内の相談支援事業所は新規の受け入れは難しいとされるが、確実に相談支援が必要と思われるケースが少なくないので新規の受け入れを検討していく。
- ② 事業所の複数利用等により就労するご家族が増えているため、面談の日程がなかなか合わない状況がある。計画的かつ効率的に行なえるよう、早めに予定を立てる。

### <平塚支部>

- ① 成人期の夜間、休日に対応する社会資源の不足等の要因により、緊急時の対応等に関する課題が多いため、各関係機関とも連携して対応を行っていく必要がある。
- ② 利用者数の増加により、新規利用者の受け入れが困難になってきていることに対しての今後の対応を検討する必要があるが出てきている。

## 10、目標

### <茅ヶ崎支部>

- ① 客観的な視野を持ち、ご家庭・学校・事業所・関係機関と連携を図りながら、より利用者にあった計画書の作成を行う。
- ② 利用者の状況や家庭環境に応じて、短期入所や新しい事業所の利用を提案し検討できるように、日頃から情報収集に努める。

### <平塚支部>

- ① 計画作成、モニタリングなどを通じて利用者(サービス利用者・家族を含む)の方たちのニーズの把握に努め、関係機関とも連携してニーズの充足が図れることを目指す。
- ② 事務作業等の効率化を行い、緊急時などにも対応できる体制づくりを目標にしながら、昨年度と同程度の利用実績を目指す。

## 11、総括

### <全体>

相談内容からは成人期に関しては、障害支援区分の高い方についての、夜間や休日に対応できる社会資源が不足している状況が続いていて、在宅生活を継続していくにあたってはグループホームの利用者などを除くと家族の支援力に左右される面が大きい。また就労系などを利用している障害支援区分の比較的低い方については、ご本人の状況や希望と実際の支援のミスマッチなどによって生じる課題が多い。

### <茅ヶ崎支部>

茅ヶ崎支部に関しては今年度から担当職員が変更になったケースがあり、事務的な処理の点で調整が必要な場合が昨年度よりは多かった。夜間や休日の社会資源が不足している点は近隣と同様の課題を有している。

### <平塚支部>

相談としては他の拠点に協力を仰ぎながら、面談や書類のやり取りなどをスムーズに行なうことができた。児童に関しては以前と変わらずモニタリング月・計画作成時期が重なるが、事前に準備するなどして遅滞なく業務遂行することができた。次年度に向け新規利用者との契約を進めていく。成人に関しては月によつての計画数にバラツキが多く、調整をして業務を行う事ができない面があった。

特定非営利活動法人トムトム

総会	監事2名
理事	理事長

総務部長	事業部長
------	------

本部	茅ヶ崎支部	平塚支部
----	-------	------

事業所名	サービス名	分室	職員配置
------	-------	----	------

本部	総務部 経理・労務・庶務		常勤 嘱託 非常勤
----	-----------------	--	-----------------

モンキーポッド	茅ヶ崎市日中一時支援		常勤 非常勤
あいあいクラブ	放課後等デイサービス		常勤 嘱託 非常勤
からんころん	生活介護		常勤 非常勤
ゴロゴロクラブ	茅ヶ崎市日中一時支援		常勤 嘱託 非常勤
とむ部	共同生活援助		常勤 非常勤

トムトム相談室	計画相談支援 障害児相談支援		常勤
キャロット工房	就労継続支援B型		常勤 非常勤
えぼつくハウス	生活介護 就労移行支援	黄色い家（中原） アヌ（城所） いずみビル（寒川町）	常勤 嘱託 非常勤
えぼハウ	平塚市日中一時支援	阿部公一ビル（御殿）	常勤 嘱託 非常勤
ぶんぶん	居宅介護 重度訪問介護 平塚市移動支援		常勤 嘱託 非常勤
ゆうゆうクラブ	放課後等デイサービス		常勤 嘱託 非常勤

令和2年3月末時点

職員:  
常勤31名  
嘱託6名  
非常勤73名  
アルバイト2名  
合計112名